

歯科健診は あなたの長寿ライフを 豊かにします

歯周病は、糖尿病とともに「沈黙の疾患」と呼ばれています。長い年月をかけて口腔内をむしばみ、気づいたときには手遅れというケースが多い病気です。

また、口腔がんは死亡率の高い病気です。口腔内粘膜への物理的・化学的刺激が発病の誘因となることもあります。「口腔がん検診」での早期発見・早期治療が大切です。

あなたの歯と口の健康を維持するために、早めに成人歯科健診と歯科ドック、口腔がん検診の受診をお勧めします

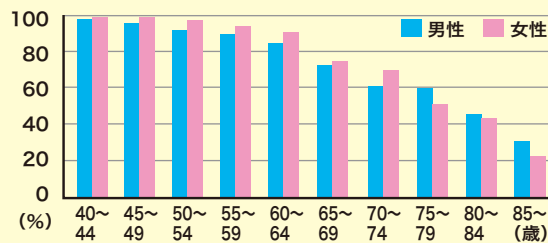
健診の対象が18歳以上の理由

歯科健診を長期持続すると歯の寿命は伸びる

18歳になると生活習慣もめまぐるしく変化し、親知らず（智歯）が生え始めたり、妊産婦における口腔健康管理は極めて重要で、歯周病は早産や低体重児出産にも影響すると考えられています。

継続的に歯科健診を受けることで健康長寿の延伸につながると考えられています。

20本以上の歯を有する者の割合



平成28年 歯科疾患実態調査結果（厚生労働省）

いつまでも食事を 楽しみたいですね

現在80歳以上の方は、約40%が義歯（入れ歯）を入れています。自分の歯のように硬いものが食べられない、味が感じにくいと困られている方もいらっしゃいます。



成人歯科健診の内容

◎ 問診

歯に関する悩みや日頃の生活習慣を、問診票や聞き取りで把握します。



歯周ポケットの深さ

◎ 歯周病等の健診

むし歯や歯周病などの状況をチェックし、治療・予防の適切な指導の基準にします。

◎ 事後指導

健診の結果、①異常なし、②要指導、③要精密検査などに分類し適切な指導を行います

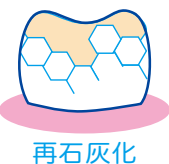


歯科ドックの内容

※受診される方は、検査前の2時間以内の飲食・歯磨きは控えて下さい。

◎ う蝕活動検査（RDテスト）

だ液の中の細菌を採取・培養して、口腔内の衛生状態や、むし歯の進みやすさ、かかりやすさなどを調べます。



再石灰化

◎ だ液緩衝能検査

緩衝能（酸を中和する力）が高ければ、口の中の酸を早く中和して、歯の再石灰化を促進させます。

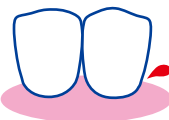
◎ だ液量測定

だ液には、口の中を清潔にする働きがあり、だ液量が減少すると、むし歯や歯周病にかかりやすくなります。



◎ だ液潜血検査

歯周病の進行による口腔内の出血や、歯周病原菌が歯肉に侵入して起きる炎症反応を調べます。



口腔がん検診の内容

◎ 視診

腫瘍、腫れ、出血、歯肉の盛り上がり、舌や頬粘膜の色の変化などを目視で検査します。

◎ 触診

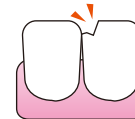
しこり、痛みなど、舌や唇を前や上に引っ張りあげて触って検査をします。口腔がんの疑いがある場合、連携の大学病院または専門医療機関で精密検査（再検査）をお勧めします。

《 口腔がんの原因 》

口腔がんについては様々な発症原因が考えられていますが、お口の中が不衛生の場合や、欠けた歯を放置していると、舌や口腔内の粘膜に小さな傷ができます。その部分を物理的に刺激する状態が長期間続くと、粘膜細胞をがん化させるリスクが高まります。

特にタバコ・習慣的飲酒などの化学的な刺激が加わると、がん化しやすくなると考えられています。

歯の破折



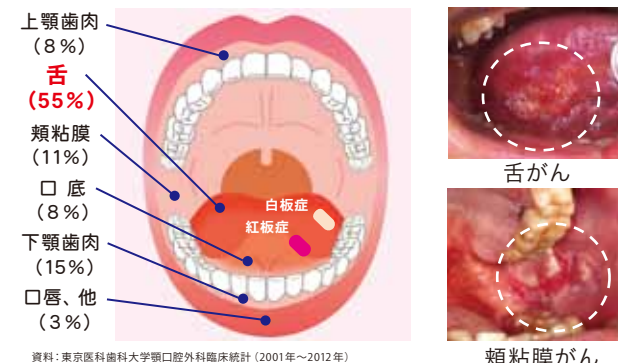
習慣的飲酒



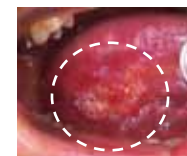
喫煙



《 口腔がんの部位と発生率 》



資料：東京医科歯科大学口腔外科臨床統計（2001年～2012年）



舌がん



頬粘膜がん



一般社団法人 川口歯科医師会

〒333-0844 川口市上青木3-12-63
SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ棟4階
TEL 048 (487) 8065 FAX 048 (487) 8104